

04

フィールドアップITN.株式会社

佐賀市三瀬



農業と福祉をマッチング
稼げる仕組みを目指して

キッカケ

佐賀市の最北端、脊振山系に位置する三瀬村。標高約400mに集落が点在し、福岡市中心部から車で約1時間とアクセスもよく、そば街道やキャンプ場、温泉など観光スポットも点在しています。その一方で山間に散在する農地は、農業従事者の高齢化や後継者不足などにより不耕作地が年々増加。地域課題を解決するきっかけになればと、フィールドアップITN.は国道263号沿いに農機具の買い取り販売店をオープン。敷地内では、農福連携事業として菌床しいたけの栽培も行っています。



組織概要

令和2年、福岡市で創業したフィールドアップITN.株式会社。「理念を通じ人格を学び心豊かに邁進する」を企業理念に、飲食業の運営、健康食品の販売、農機具の買い取り販売、新システムの構築、農福連携の取り組み、民泊業、フリースクール事業などに取り組んでいます。味噌ラーメン専門店の展開を軸に、時代のニーズや地域課題と向き合いながら事業を多角化。近年問題となっている「農業人口の減少」「障がい者の不安定な就業」に、令和3年から取り組んでいます。



中山間地域での挑戦



●使われていない農機具をリサイクル

農機具に関しては「処分に困っている」、「買い替えたいけど新品は買えない」など、農業をするうえで困っている人が多い。そんな悩みを解決するため買い取り販売店をオープン。

●農福連携でキノコを栽培

三瀬の自然水を利用して菌床しいたけをハウス内で栽培。作業を行うのは、福岡市内の就労継続支援B型事業所の利用者さん。スーパーなどと契約し、現在月に約1トンを出荷。

●農業体験ができるフリースクール事業

子どもたちの農業体験用として、三瀬の不耕作地だった場所で米や野菜を栽培。

西本 義治さん



つながり

自分たちが農業従事者となるには、知識も経験も農地もなかったことから、「地元農家の皆さんとの距離を近づけるために、農機具販売からスタートしました」と西本さん。農家の困り事を解消することで、地域との交流が自然と生まれ、農地の確保にもつながりました。「農地をお借りしている方には、子どもたちの農業体験をお手伝いしていただくこともあります」。菌床しいたけは、最初こそ販売ルートに苦労したものの、販路開拓により一定した出荷量を確保。障がいを持つ利用者の特性にあった作業を行うことで、仕事へのやりがいにもつながっています。

耕す未来

現在は、兼業農家のスタッフを採用し、子どもたちの農業体験用として農地を管理。「三瀬には、不耕作地がまだまだたくさんあります。それらを活用して、米や野菜など子どもたちの体験用に農作物の量をもっと増やしていきたい」と西本さん。順調に出荷量を増やしてきた菌床しいたけは、施設的に最大生産量に達しています。障がい者の方にとって、働きやすい環境を整えられた結果だといえます。余力がある作業スタッフも多いことから、しいたけ栽培の作業経験がいかせる新規作物へのチャレンジを検討中です。